

<流動性預金規定>

普通預金規定（無利息型普通預金規定を含む）

1. (取扱店の範囲)
普通預金（以下「この預金」といいます。）は、当店のほか当金庫本支店のどこの店舗でも預入れまたは払戻しができます。
2. (証券類の受入れ)
 - (1)この預金口座には、現金のほか、手形、小切手、配当金領収書その他の証券で直ちに取立のできるもの（以下「証券類」といいます。）を受け入れます。
 - (2)手形要件（特に振出日、受取人）、小切手要件（特に振出日）の白地はあらかじめ補充してください。当金庫は白地を補充する義務を負いません。
 - (3)証券類のうち裏書、受取文言等の必要があるものはその手続を済ませてください。
 - (4)手形、小切手を受入れるときは、複記のいかにかわらず、所定の金額欄記載の金額によって取扱います。
 - (5)証券類の取立のため特に費用を要する場合には、店頭掲示の代金取立手数料に準じてその取立手数料をいただきます。
3. (振込金の受入れ)
 - (1)この預金口座には、為替による振込金を受入れます。
 - (2)この預金口座への振込について、振込通知の発信金融機関から重複発信等の誤発信による取消通知があった場合には、振込金の入金記帳を取消します。
4. (受入証券類の決済、不渡り)
 - (1)証券類は、受入店で取立て、不渡返還時限の経過後その決済を確認したうえでなければ、受入れた証券類の金額にかかる預金の払戻しはできません。その払戻しができる予定の日は、通帳の摘要欄に記載します。
 - (2)受入れた証券類が不渡りとなったときは預金になりません。この場合は直ちにその通知を届出の住所宛に発信するとともに、その金額を普通預金元帳から引落とし、その証券類は当店で返却します。
 - (3)前項の場合には、あらかじめ書面による依頼を受けたものに限る、その証券類について権利保全の手続をします。
5. (預金の払戻し)
 - (1)この預金を払戻すときは、当金庫所定の払戻請求書に届出の印章により記名押印して通帳とともに提出してください。
 - (2)この預金口座から各種料金等の自動支払いをするときは、あらかじめ当金庫所定の手続きをしてください。
 - (3)同日に数件の支払をする場合にその総額が預金残高を越えるときは、そのいずれを支払うかは当金庫の任意とします。
6. (利息)
この預金の利息は、毎日の最終残高（受入れた証券類の金額は決済されるまでこの残高から除きます。）1,000円以上について付利単位を100円として、毎年3月と9月の当金庫所定の日、店頭に表示する毎日の利率によって計算のうえ、この預金に組入れます。なお、利率は金融情勢に応じて変更します。
7. (無利息型普通預金における普通預金規定に関する特約)
普通預金を無利息型普通預金として取扱うことを依頼する場合、かかる依頼後の無利息型普通預金には、利息がつきませんので、前6条に基づく利息の組入れはございません。
8. (手数料の取扱い)
 - (1)未利用口座管理手数料
 - ① 未利用口座管理手数料は当金庫が別途定める未利用口座が対象となります。
 - ② この預金は、別途定める一定の期間、預金者による所定のご利用がない場合には、未利用口座となります。
 - ③ この預金が未利用口座となり、かつ残高が一定の金額を超えることが無い場合には、当金庫はこの預金口座から、払戻請求書等によらず当金庫所定の方法により、未利用口座管理手数料を引き落とします。

- ④ この預金口座の残高が未利用口座管理手数料に満たない場合、当金庫は、預金者に通知することなく、残高を未利用口座管理手数料に充当の上、この口座を解約する事ができるものとします。
 - ⑤ 一旦引落としとなり、お支払いいただいた未利用口座管理手数料については、ご返却いたしません。
 - ⑥ 解約された口座の再利用はできません。
- (2)その他手数料
- ① この預金の取引に関する手数料が、改定もしくは新設された場合にも、当該手数料は当金庫所定の方法により引き落します。
 - ② 前項にかかわらず当該手数料の引き落としができなかった場合、当金庫は当金庫所定の方法により、口座を解約することができるものとします。

(改定：令和6年7月1日)